



イスラエルの春の祭と キリスト教の核心＝十字架

四千年前に神は「代々ながく守るべき定め」(レビ 23:41)としてイスラエルの民に過越の祭を行うように命じ、それ以来彼らはユダヤ教の最も重要な祭りの一つとしてこの祭を行い続けてきました。その目的はユダヤ人の歴史上の最大の事件である出エジプトを再体験する事でしたが、実は将来起こる事件の「予言」でもあったのです。そして、その事件とは現在ではキリスト教会のシンボルともなっている十字架と、それに続く復活でした。出エジプトは、ユダヤ人が奴隷の状態から解放され、自由な民として約束の地に帰った事件ですが、これはすべての人に実現することの予告でもあったのです。

これらの秘密が、禁断の書物とされてきた新約聖書を読みイエス・キリストを信じ始めたユダヤ人によって解き明かされてきています。10月には彼らと共にイスラエルの秋の祭について学びましたが、今日は春の祭である過越の祭に隠された秘密をまなびます。ぜひご来場ください。

■日時: 11月19日[木] 7時～8時30分

■場所: 京都アスニー (3階第3研修室B)

無料です。どなたでも自由にご参加ください。

聖書がはじめてでも、なるべくわかりやすくお話しします。
聖書やキリスト教への疑問や質問にも、出来る限りお答えします。
つづけて参加すると、聖書と世界の流れが見えてきます。
聖書が教えている、より良く生きる力についてお話しします。

はじめての聖書に学会

www.skk-kyoto.com

主催: 聖書研究会京都集会
連絡先: 075-462-8294(坂本)